

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 片倉ユープアグリ(株) 姫路工場

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針

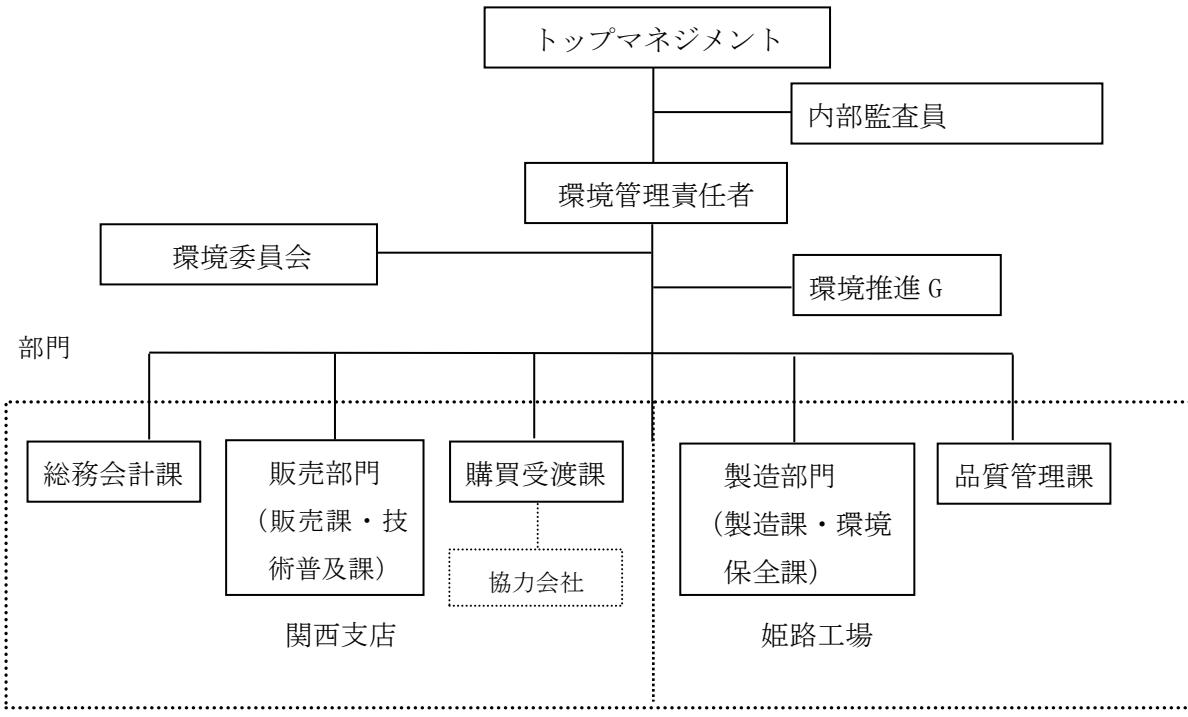
#### 基本理念

当事業所は、地域貢献、環境共生に配慮した販売・生産活動を推進し、環境との調和した活動をおこなう。

#### 環境方針

- ・豊かな食生活や健康を支える「安全で高品質、おいしい農産物」のニーズに応える有機質肥料にこだわり、農業を通じて環境に貢献する。
- ・廃棄物の適切な管理と削減、エネルギー軽減、再生資源の利用に努め、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行い継続的改善と汚染の予防に努める。
- ・環境に関連する法規制および同意するその他の要求事項を順守する。
- ・環境に関する教育・啓発を行い、全従業員及び協力会社に対し周知する。
- ・環境管理の維持向上及び、環境マネジメントシステムの継続的見直しをおこなう。
- ・この環境方針は、必要に応じて公開する。また、環境方針は総務会計課に申し込む事により誰でも入手出来るようにする。

### 1-2 環境保全活動に関する組織体制



## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
電力/生産数量比の 2015年度値を維持	目標に対して通年平均では90%の達成であった。銘柄切替による効率低下。	継続して取り組む。
乾燥炉都市ガス燃費 /生産量比の 2015 年 度値を 0.6% 削減	乾燥効率の悪い銘柄の生産が増加して通年平均では目標値より15%増加した。	継続して取り組む。
事務所冷暖房設備の 適正管理の実施	冷暖房設備の定期清掃（4回実施）	継続して実施する。
構内及び工場周辺の 清掃	毎月1回実施	継続して実施する。
営業車の燃費効率の 適正管理（ガソリン） 2015年燃費基準 の維持	営業車のハイブリット車の導入も進み燃費目標に対して目標比108%で達成。	新規課題に取り組む。
フォークリフト使用 軽油の出荷製品数量 /軽油使用量比 20 15 年度基準の維持	倉庫の効率的な利用に努め2015年度比133%で達成。	数量把握の継続、電動リフトの導入。
脱臭設備の性能維持	定期的なモニタリングを実施した。	継続して取り組む。
製品乱袋、破袋発生 数の把握と削減によ る資源の有効利用	製品乱袋、破袋数量を集計し削減を目指した が2016年度に比べて増加した。	継続して取り組む。
環境マネジメントシ ステム	ISO14001の定期審査受審。 内部監査、環境安全パトロールを実施した。	継続して取り組む。